

03 巻頭言 事業継続

高井 康行 (たかい・やすゆき)

一般財団法人長寿社会開発センター 理事長

1978年厚生省(現厚生労働省)入省。厚生労働省介護保険課長、保育課長、大臣官房会計課長、内閣府政府広報室長、厚生労働省医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長を歴任し、2012年退官。2013年社会福祉法人全国社会福祉協議会副会長を経て、2019年より一般財団法人長寿社会開発センター理事長。ダイヤ高齢社会研究財団理事。

04 Dia Report コロナ禍における高齢者のコミュニケーションの変化 澤岡 詩野 (さわおか・しの) —インターネット利用に着目して—

ダイヤ高齢社会研究財団 研究部 主任研究員

東京工業大学大学院卒。工学博士。東京理科大学助手を経て、2007年より現職。研究テーマは高齢期の社会関係。業績として「都市のひとり暮らし後期高齢者における他者との日常的交流」(共著『老年社会科学』)、「都市部の企業退職者の社会活動と社会関係におけるインターネットの位置づけ」(単著『応用老年学』)など多数。

08 フォーカス高齢社会 ダイヤビックと私 佐藤 邦彦 (さとう・くにひこ) —シニアがシニアを指導するエアロビクス—

ダイヤビックひばり会 会長

1971年東京教育大学(現、筑波大学)体育学部卒業とともに三菱電機名古屋製作所に入社。主として「営業」を担当、同時にバスケットボール実業団女子チームを7年間コーチ、本社(東京)転勤後29年間母校の高校生を外部コーチとして指導。56歳で退職後「三菱養和会」に移り7年間勤務後、デイサービスやグループホームの介護施設を経験して2021年6月より現職。現在、横浜市内で高齢者体操教室を指導中。

10 財団研究紹介 シルバー人材センターにおける重篤事故の発生状況と要因 森下 久美 (もりした・くみ) —10年間の重篤事故報告資料の分析を通じて—

ダイヤ高齢社会研究財団 研究員

桜美林大学大学院修了(老年学修士)。現在、桜美林大学大学院老年学研究科博士後期課程在学中。2018年3月より現職。財団では、シルバー人材センターの活動による介護予防効果の検証および、安全就業支援に関する研究を担当。

13 Dia Column 想定寿命を大きく超える人生 森 義博 (もり・よしひろ)

ダイヤ高齢社会研究財団 企画調査部長

一橋大学経済学部卒。1981年明治生命(当時)入社。2001年から同グループの研究所で少子高齢化問題、介護保険制度等を研究後、2015年から当財団。著作は「人生100年時代の老後資金準備」(本誌通巻101号)、「就労者にとっての育児と介護」(日本FP協会『FPジャーナル』2021年4月号)等。

14 Dia Information